

平成 28 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス			
教科目名	政治・経済	担当教員	中村史信
学年学科	3年 A学科	通年	必修 2単位
学習・教育目標	(A-1) 100%	JABEE 基準 1 (1) (a) 50%、(f) 50%	
授業の目標と期待される効果： この授業では日本と世界の政治・経済をめぐる諸問題について総合的に学習する。具体的な目標は以下の通り。 1. 政治・経済の基礎知識を広げる。 2. 社会問題を論理的に考察し、説明する力を養う。 3. 現代の時事問題や国際情勢への理解・関心を深める。		成績評価の方法： 以下の総得点 500 点に占める得点率で最終評価を行なう。 前期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点＋課題提出 50 点 後期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点＋課題提出 50 点 達成度評価の基準： 以下の各要素についての達成度を成績評価の基準とする。 1. 政治・経済についての正しい知識を習得したか。 2. 授業内容を論理的に考察し、説明する力がついたか。 3. 現代の時事問題や国際情勢への理解・関心が深まったか。	
授業の進め方とアドバイス： 授業は教科書と板書を使用した講義形式で行う。授業中には随時質問を交え、学生の積極的な発言を求める。「政治とは何か?」「世界とは何か?」「社会をどのような視点から眺めるのか?」このような問いを自らに投げかけ、自分の視野を時間的・空間的に広げてほしい。受講者の興味・関心を喚起するような書籍や画像・映像資料を提示し、時事問題に関する解説も加えていく。			
教科書および参考書： 『最新政治・経済資料集』(第一学習社)を教科書とし、その他必要に応じてプリント等を配布する。			
授業の概要と予定：前期			AL のレベル
第 1 回：イントロダクション			
第 2 回：法と国家			
第 3 回：近代民主政治の成立 (1)			
第 4 回：近代民主政治の成立 (2)			
第 5 回：大日本帝国憲法			
第 6 回：日本国憲法 (1) 成立と趣旨			
第 7 回：日本国憲法 (2) 国民の権利			
第 8 回：中間試験			
第 9 回：日本国憲法 (3) 新しい人権			
第 10 回：内閣・国会 (1)			
第 11 回：内閣・国会 (2)			
第 12 回：司法制度 (1)			
第 13 回：司法制度 (2)			
第 14 回：地方自治 (1)			
期末試験			
第 15 回：地方自治 (2)			

授業の概要と予定：後期	ALのレベル
第16回：選挙	
第17回：政党政治	
第18回：経済社会の発展	
第19回：市場経済（1）	
第20回：市場経済（2）	
第21回：戦後の日本経済（1）	
第22回：戦後の日本経済（2）	
第23回：中間試験	
第24回：現代社会の諸問題（1）労働問題	
第25回：現代社会の諸問題（2）少子・高齢化問題	
第26回：国際社会の諸課題（1）国連	
第27回：国際社会の諸課題（2）安全保障・領土問題	
第28回：国際社会の諸課題（3）南北問題	
第29回：国際社会の諸課題（4）民族紛争	
期末試験	
第30回：メディア・リテラシー	

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
1	政治経済の知識に関する問題を正確に答えられる(8割程度)	政治経済の知識に関する問題をおおよそ正確に答えられる(6割程度)	政治経済の知識に関する問題を正確に答えられない
2	授業内容を十分論理的に説明できる	授業内容をやや論理的に説明できる	授業内容のごく一部しか論理的に説明できない
3	時事問題や国際情勢に関する問題を正確に答えられる(8割程度)	時事問題や国際情勢に関する問題をおおよそ正確に答えられる(6割程度)	時事問題や国際情勢に関する問題を正確に答えられない